

第1回 つくし野自治会館建設委員会 議事録

1. 第14回作業部会以降(3/9)の経過と4自治会総会での建設委員会規約承認・移行
1・2丁目(4/8)、2丁目(4/7)、3丁目(4/1)、4丁目(4/1)

下表に基づき、4自治会いずれの総会でも承認されたと報告があり、議論。

質 問 ・ 意 見 等	答 弁 等
第2条「推薦された委員」は自治委員に限るのか？任期の定めがない。長い委員の影響力が大きくなる。案を修正して再提出できないか。	推薦委員は自治委員に限らず、会員を想定している。任期の定めはない。年1度の総会なので、この(案)で承認してほしい。そうした意見があることを、他の総会でも報告の上、今後の検討課題とし、検討状況は逐一各定例委員会に報告協議する。
自治会館が建設されても利用者が少なく、維持管理費等が足を出しかねないのではないか。利用者団体の要望・需要を調査しているのか。	そうした不安はもっとも。調査の中で、利用者団体要望アンケートを実施して、利用希望、需要状況を把握して、収支バランスを取るための課題と対策を検討しており、今後も継続。
アンケートの取り方や分析が恣意的ではないのか。いろいろな条件が提示されずに、設問が設定されている。アンケートのとり直しが必要ではないか。	昨年4～5月実施のアンケートは、中立的な立場で住民の意向把握が目的。それ如何で、調査、事業計画作成等に入れるかを把握。折々にアンケートや住民説明会は実施する。
設計・施工業者の選定等は透明性が確保できるのか。	市の補助金受給を目指しており、細かな交付基準がある。業者選定は2段階、複数業者の見積合わせが条件で、透明性・公平性は確保できる。

第15回作業部会で出された主な議論—これらを踏まえ建設委員会への移行を確認

- ・(参考資料)「1 自治会館の必要性と建設の目的」については十分議論を深める必要がある。
- ・自治会館建設にあたり、3つの課題がある。立ち上がり資金、ランニングコスト、管理運営で自治委員の負担が過大にならないのか。これらについて調査・分析、対策を立てる必要がある。
- ・ランニングコストについては、コミュニティセンター利用者団体アンケートを実施して、需要—利用者見込み調査を実施した。一定の収入見込みがあり、さらにつめる必要がある。
- ・建設委員会の自治会からの推薦委員については、あまり負担増にならないためにも単年度任期がいいのではないか。
- ・建設委員会は継続性が必要なので、「任期は1年、ただし再任は妨げない」がいいのではないか。建設委員会は自治会館建設までが任務。その際に、メンテナンス計画や会館運営組織を立案して、運営委員会に引き継ぐ必要がある。期間は数年ではないか。

1. 建設委員会の体制：構成、役員、役割分担

- ① 作業部会の建設委員会への移行を確認したが、2自治会長が欠席しており、各自治会総会直後でもあり、それぞれの自治会の意思統一が十分できていないため、建設委員会の体制と役割分担は、次回会議で討議・決定することとした。
- ② 建設委員会の役員（委員長1名、副委員長3名）は、委員の互選で選出することとなっているが、規約（案）作成の過程で、4自治会から1名ずつ出すことが望ましいとの議論があった。そこで、次回会議に向けて、各自治会定例委員会でそれぞれの自治会の正・副委員長候補を確認して来たらどうかと言う提案があった。
- ③ しかし、4月に新しい定例委員会が発足したばかりで、各定例委員会の中で誰が正・副委員長にふさわしいのかの議論は困難との異論が出され、各自治会の委員（自治会長と推薦委員）で議論して、候補者を決めてくることを確認した。

2. 今後の工程計画（案）－ 来年の6月に町田市に事業計画（案）を申請して、補助金の受給をめざすためには、おおよそ下記のテンポでの作業が必要であると議論された。

- 2018年6月 自治会館機能（案）作成－各自治会・ふれあいへの説明（7月）
- 8月 事業計画（案）作成－各自治会・ふれあいへの説明（9月）
- 10月 地域説明会等の開催
- 11月 アンケート実施
- 2019年2月 事業計画（案）の確定
- 4月 各自治会総会での事業計画の承認
- 6月 町田市へ事業計画申請書の提出

3. 会議日程－毎月第2金曜日 17:30～ つくし野コミュニティーセンター第1会議室
なお、奇数月はつくし野自治会連合定例会があるため、19:30まで。
予定日：5/11、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8

4. 町田市市民協働推進課訪問について

集合日時：4月16日（月）13:20 町田市役所ロビー

応 対 者：中坪課長ほか

獲得目的：① 町田市人事異動後の挨拶

② 作業部会の建設委員会への移行を報告して地元熱意の伝達

③ 農事センター跡地の状況把握

④ その他

参加者：菊池、友井、鶴養、渋川、中村の各委員

なお、当日欠席の鈴木連合会長の参加は、後日確認して参加となった。

5. その他の議論

- ・ 作業部会はいろいろなことに取組んできた。こうした点をもっと会員に知らせる宣伝物や「QA」などを作るなどの工夫が大切ではないか。
- ・ つくし野ふれあいネット等のご協力を得て、建設委員会の議事録を公開したり、資料を簡単に見ることができるようにしたらどうか。

以上